

モデル地区 ⑩ 和歌山県 古座川町

地元産シカ肉の地産地消やアスリート向け提供など、幅広い消費拡大を展開

取組の概要



近隣市町の猟友会と連携し、施設への搬入頭数を増加。

取組主体 (コンソーシアム)

「古座川ジビエコンソーシアム」

- 古座川ジビエ山の光工房 (代表、事務局)
- 和歌山県、古座川町
- 古座川猟友会
- 南紀月の瀬温泉ぼたん荘
- 株式会社ミーティング

一定規模の処理頭数を確保

現状<H28年度>
シカ、イノシシ
518頭/年

計画<H31年度>
シカ、イノシシ
1,024頭/年

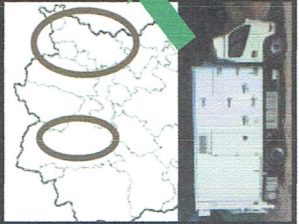
食品衛生管理の徹底

和歌山県の「わかやまジビエ処理施設衛生管理認証」を取得済



モデル地区 ⑪ 岡山県 美作地区

取組の概要



美作市獣肉処理施設が核となり、ジビエカーを導入する真庭市と連携し、処理頭数を増加させ、ペットフード等利用拡大に取組み収益向上。

取組主体 (コンソーシアム)

「みまさか有害獣利用活用研究コンソーシアム」

- 美作市鳥獣被害防止対策協議会 (代表)
- 美作市〔事務局〕
- 真庭市、奈義町、岡山県
- 猟友会(美作市、真庭市)
- (一社)日本ジビエ振興協会

一定規模の処理頭数を確保

現状<H28年度>
シカ、イノシシ
1,219頭/年

計画<H31年度>
シカ、イノシシ
1,848頭/年

食品衛生管理の徹底

国の「国産ジビエ認証」を取得予定

モデル地区 ⑫ 鳥取県 東部地区

取組の概要



優良施設をモデルとし、新規施設へ処理・加工や衛生管理のノウハウを移転し、地区のブランド強化を図る。

取組主体 (コンソーシアム)

「いなばのジビエ推進協議会 ジビエ倍増モデル推進委員会」

- いなばのジビエ推進協議会 (代表、事務局)
- 鳥取県、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町
- 智頭町百人委員会獣害対策部会
- 鳥取銀行、道の駅桜ん坊、(株)サンマート 等

一定規模の処理頭数を確保

現状<H28年度>
シカ、イノシシ
1,857頭/年

計画<H31年度>
シカ、イノシシ
2,610頭/年

食品衛生管理の徹底

鳥取県「HACCP認証」取得済 (既存施設) 新規施設も今後取得



ジビエカーの導入等による処理頭数増とペットフード等利用拡大により大規模拠点化

県HACCP取得施設のノウハウを新規施設へ移転し、ブランド化を促進

モデル地区 ⑬

徳島県 県内広域

徳島県「阿波地美栄」認証 6 施設のジビエの在庫一元管理、共同販売体制の構築

取組の概要



諸日観光ツアー



黒拍施設でのジビエ料理

地域の強みである農泊と連携し、インバウンド需要を取り込むとともに、首都圏等での販売促進を図り、経営の安定を実現。

取組主体 (コンソーシアム)

あわじびえ
「阿波地美栄推進協議会」

- 阿波地美栄推進協議会(代表)
- 徳島県(事務局)、美馬市、三好市、那賀町、阿波市、東みよし町
- (一社)徳島県猟友会、(株)キョーエイ
- 木沢シカ肉等加工施設、祖谷の地美栄、美馬市シカ肉等処理施設他 3 施設
- 徳島大学、徳島文理大学 等

一定規模の処理頭数を確保

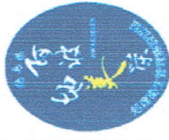
現状(H28年度)
シカ、イノシシ
318頭/年

計画(H31年度)
シカ、イノシシ
1,000頭/年

食品衛生管理の徹底

徳島県

「阿波地美栄施設認証」
取得見込 (3月)



モデル地区 ⑭

熊本県 県内全域

料理人や若い農家と県内外の流通加工業者が連携して、くもとジビエのブランド化を推進

取組の概要



二次加工専門の中核処理加工施設を新設。県下10処理加工施設より枝肉を集約搬入。精肉・加工品を一括製造・管理したワンストップ受発注。

取組主体 (コンソーシアム)

「くもとジビエコンソーシアム」

- 全日本厨士協会 西日本地方本部(代表)
- くもとジビエ研究会(事務局)
- 熊本県、県下8市町村
- くもと☆農家ハンター(株)ナカガワフーズ
- マックスバリュ九州(株) 等

一定規模の処理頭数を確保

現状(H28年度)
シカ、イノシシ
1,358頭/年

計画(H31年度)
シカ、イノシシ
2,511頭/年

食品衛生管理の徹底

国の「国産ジビエ認証」
を取得予定

モデル地区 ⑮

大分県 県内全域

県内全域での規格・品質表示等の統一化による、大分ジビエの消費拡大を推進

取組の概要



2 処理加工施設を新設。20処理加工施設の供給可能量等の情報一元化を実施し、安定した流通体制を構築。

取組主体 (コンソーシアム)

「大分ジビエ振興協議会」

- 大分県(代表、事務局)
- 県下15市町
- (一社)大分県猟友会
- (有)みやもと
- (有)サンセイ
- (株)椿説屋 等

一定規模の処理頭数を確保

現状(H28年度)
シカ、イノシシ
1,499頭/年

計画(H31年度)
シカ、イノシシ
4,600頭/年

食品衛生管理の徹底

国の「国産ジビエ認証」
を取得予定

モデル地区 ⑬

宮崎県 延岡地区

良質なジビエ提供で、市の観光戦略“食で人を呼ぶる地域づくり”に貢献

取組の概要



市南部に処理加工施設を新設。シカについては生け捕りで搬入するなど高品質ジビエを生産。燻製や味付け肉等の食肉加工品も製造・販売。

- 取組主体（コンソーシアム）
- 「延岡市ジビエ振興コンソーシアム」
- (株)マツダコーポレーション(代表)
 - 延岡市(事務局)
 - 宮崎県
 - 延岡地区猟友会
 - 吉田精肉店
 - 九州保健福祉大学

一定規模の処理頭数を確保

現状<H28年度>
シカ、イノシシ
50頭/年

計画<H31年度>
シカ、イノシシ
1,000頭/年

食品衛生管理の徹底

国の「国産ジビエ認証」
を取得予定

モデル地区 ⑭

鹿児島県 阿久根地区

自家消費中心の経営からジビエ利用拡大を意識した販売中心の経営へ転換

取組の概要



既存処理加工施設に新たに保冷庫を整備。市内捕獲鳥獣の概ね全頭を搬入・有効利用し、安定的にジビエを提供。

- 取組主体（コンソーシアム）
- 「阿久根市鳥獣被害防止対策協議会」
- 阿久根市(代表、事務局)
 - 鹿児島県
 - 阿久根市猟友会
 - 脇本猟友会
 - (一社)いから阿久根
 - 鹿児島県いずみ農業組合 等

一定規模の処理頭数を確保

現状<H28年度>
シカ、イノシシ
1,242頭/年

計画<H31年度>
シカ、イノシシ
1,500頭/年

食品衛生管理の徹底

国の「国産ジビエ認証」
を取得予定